

# 体験寺子屋事業 実践事例（取組の一例）

実施区分  
日帰り（4日以上）

## ■ 実施主体

地域住民で組織する実行委員会（行政が事務局）

## ■ 参加対象

小学3年生～中学3年生

## ■ 実施・宿泊場所

屋上緑化施設（畑）

## ■ 事業の目的

- ☑ 不登校児童・生徒に対し、自然観察や体験学習を通して、心の育成を図る
- ☑ 共同作業を行うことで、協調性やコミュニケーション能力の向上を図る

## ■ 体験活動の内容

農業体験（季節の草花・野菜を育てる）、観察、調理体験 など

## ■ スケジュール

1回目	2回目
<b>農業体験①（5月）</b> 草取り、土作り、畝作り 夏花（ひまわり、サルビア）・ 夏野菜（スイカ、キュウリ）の作付け	<b>農業体験②（7月）</b> 夏花の観察、草取り、 夏野菜の収穫、調理体験、 土作り、さつまいもの作付け
3回目	4回目
<b>農業体験③（9月）</b> 草取り、土作り、 冬花（ピオラ等）の作付け	<b>収穫祭（11月）</b> 冬花の観察、草取り、 さつまいもの収穫、焼き芋体験 次回のために土壌改良

## ■ 経費内訳

歳入項目	金額	内容
補助金	30,000円	県補助金
市町補助金	30,000円	—
団体負担	0円	—
<b>合計</b>	<b>60,000円</b>	



歳出項目	金額	内容
報償費	10,000円	講師謝礼
旅費	0円	—
需用費	50,000円	材料費 (種苗購入) 消耗品費 感染症対策
役務費	0円	—
使用料	0円	—
<b>合計</b>	<b>60,000円</b>	

## Point

補助金額は補助対象経費の  
**1/2 以内（上限あり）**

## ■ 工夫した点

- ☑ 屋上緑化施設を不登校等の困難を抱える子供たちの“居場所”と位置づけ、年間を通して農業体験を実施している事業のうち、JA職員を講師として招く4回の活動を「体験寺子屋事業」として補助申請をした
- ☑ 県補助金と市町補助金を活用したことにより、団体の費用負担がなかった